



為石小学校の合言葉 「ためし 最高! ~地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども~」



○楽しく めあてをもって しっかり学ぶ
○正しく めあてを しっかり守る
○たくましく めあてに向かって しっかり鍛える

学校だより



ためし



令和7年10月20日号 文責 上久木田 雄二

チームとしての学校

文部科学省が示す「チームとしての学校」は、学校教育だけで解決することが困難な課題について、学校に関わる多くの関係機関と連携することを求めたものです。

高度情報化の中、社会が複雑化し、曖昧さが増すごとに、学校教育ができる範囲を超える問題が多く存在していることは皆さんも耳にしたことがあると思います。

学校教育は、次のような関係機関に協力を依頼する可能性があります。

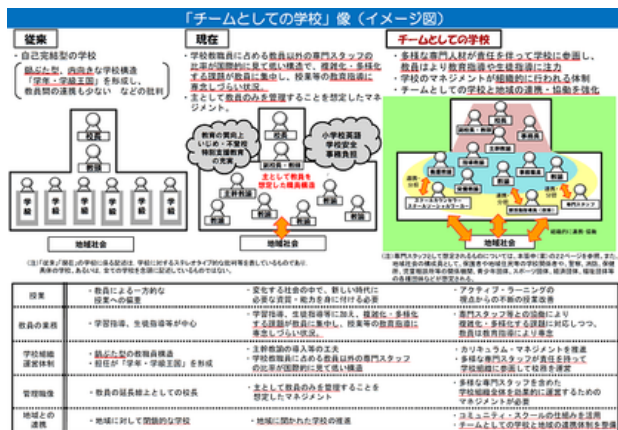
- スクールカウンセラー
- 不登校支援スクールカウンセラー
- スクールソーシャルワーカー
- 警察・交番
- 長崎大学子ども心の医療・教育センター
- OPTA（青少年団体として）
- 児童相談所
- 保健所
- 各種スポーツ団体 など

を文部科学省は挙げています。

本校も積極的にこれらの関係機関とつながりを持ち、子どもたちの教育に何が必要なのかを考えています。

チームとしての学校を成立させるためには、保護者の深い理解と協力は欠かせません。

PTAがチームとしての学校に加わっていることがその意義を表していると私は思っています。



子どもたちもいろいろな思いを持って登校していることは私も理解しています。その中で折り合いを付けながら、学びに向かっている子どもたちの姿に感心しています。

私が懸念しているのは、学校で起こっていることの現実と家庭の姿が大きく違っている場合です。

その原因は、学校教育では見つけにくいことが多いからです。

その場合は、家庭と積極的に連携することを行政も後押ししています。私も担任にそう指示しています。

HPはこちら



二次元コード読み取り 「カラー版は、ホームページでご覧いただけます。」

